

実現した構造改革特区の例(第13回認定分)

きつれがわ

喜連川社会復帰促進センター等PFI特区【栃木県、大田原市、さくら市】

おおたわらし

産業活性化分野



現在、さくら市に整備中の喜連川社会復帰促進センター(2,000人規模)と大田原市にある既設の黒羽刑務所(2,000人規模)において、刑務所事務の一部を民間に委託し、地域雇用の拡大による定住人口の増加、地元の商工業者や農業者の新たな販路の拡大などによる地域経済の活性化を図る。

< 特定刑事施設における収容及び処遇に関する事務の委託促進事業 >

・警備、職業訓練等の事務委託による雇用創出効果

約100人(喜連川社会復帰促進センター)

約 50人(黒羽刑務所)

・刑務所に勤務する職員及びその家族の定住 約700人

・食料、日用生活用品等の消費拡大による経済効果 年間約10億円

島根あさひ社会復帰促進センターPFI特区

はまだし

【島根県、浜田市】



< 特定刑事施設における収容及び処遇に関する事務の委託促進事業 >

< 特定刑事施設における病院等の管理の委託促進事業 >

播磨社会復帰促進センター等PFI特区

かこがわし

【兵庫県加古川市】



< 特定刑事施設における収容及び処遇に関する事務の委託促進事業 >

手話と書記日本語によるバイリンガルろう教育特区【東京都】

教育分野



現行のろう学校では、聴覚口話法()を中心にした教育が行われているが、重度の聴覚障害児などの中には必ずしも適合できないものもいる。このため、学習指導要領に位置付けられていない、「手話を中心に活用したバイリンガルろう教育」()を実践・研究し、教育方法の確立とろう教育の選択肢の拡大を図る。

< 特区研究開発学校の設置 (教育課程の弾力化) >

- ・聴覚障害児・保護者の多様なろう教育ニーズに対応
- ・ろう教育の一層の充実とそれによる人材の育成促進

聴覚口話法・・・ 補聴器等を用い、残存する聴力を最大限に活用し、読唇、発声指導を行う教育方法
バイリンガルろう教育・・・ 日本手話を第一言語、書記日本語(読み書き)を第二言語と位置付け展開する指導方法

久留米市地域密着共生型福祉特区【福岡県久留米市】

福祉分野



多様なサービスを一体的に提供可能な小規模多機能型居宅介護事業所()において、高齢者と障害児(者)を区別することなくサービスを提供することにより、身近な地域における障害児(者)へのサービス提供基盤を強化し、地域の福祉力の向上とノーマライゼーション()のまちづくりを進める。

< 小規模多機能型居宅介護事業所における障害児(者)の受け入れ >

- ・障害児(者)サービスの向上、送迎時間の短縮等による家族等の負担軽減
- ・ノーマライゼーションの意識の浸透、地域コミュニティの構築

小規模多機能型居宅介護事業所・・・ 「通い」を中心に、利用者の希望などに応じて、訪問や宿泊を組み合わせるサービスを提供する介護保険法上の事業所
ノーマライゼーション・・・ 障害のある人も、一般社会で等しく普通に生活できるようにすること

うしおに

“牛鬼の里うわじま”どぶろく特区【愛媛県宇和島市】

都市農村交流分野

(どぶろく特区 = 現在69件 + 今回認定5件 合計74件)



牛鬼

「牛鬼」()により厄払いがなされ製造された濁酒を皮切りに、宇和島の観光・物産の統一したブランドとして「牛鬼の里うわじま」を確立する。併せて、農家レストランの開設、濁酒製造工程見学体験などの事業を展開し、都市と農村との交流による地域の活性化を図るとともに、特色あるまちづくりを進める。

< 農家民宿等における濁酒の製造免許要件の緩和 >

- ・農家民宿(レストラン)開業件数 1件(平成17年) 15件(平成24年)
- ・観光客数 218万人(平成17年) 228万人(平成24年)

「牛鬼」・・・厄を払い来る年の豊穡を約束する郷土芸能

名護市IT人材育成特区【沖縄県名護市】

IT分野



名護市では沖縄振興特別措置法に基づき、「情報通信産業特別地区」等の指定を受け、IT企業誘致のため関連施設の整備等を進めている。本特例を活用しIT人材の育成を推進することによる相乗効果により、さらなる知的産業の集積を図り、経済の発展を目指す。

< 民間事業者が設置する認定講座の修了者に対する基本情報技術者試験()の一部免除 >

- ・関連施策による雇用創出者数 500人強(平成18年10月末現在)
2,000人 (平成23年度)
- ・基本情報技術者試験の合格率向上 9.6%(平成17年度県平均相当)
14.3%(同年度全国平均相当)

基本情報技術者試験・・・プログラミング等情報技術に関する基礎的な知識・技能を問う国家試験

実現した地域再生計画の例(第6回認定分)

補助対象財産の転用手続の一元化・迅速化を活用した計画 = 9件

「元気・活力・友愛」のある里づくり計画【高知県、^{しまんとちよう}四万十町】(変更計画)

中山間地域の農林業を振興し、生活環境を改善するため、町道と林道の効率的な整備等を図っている。これに加え、廃校校舎等を介護サービス事業所及び都市との交流拠点(滞在型の農村交流施設)として活用することにより、地域に根ざした介護サービスの充実、交流人口の拡大を図り、高齢者が活躍できる場を設けて高齢者の生きがいづくりを目指す。

< 補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化(追加)、道整備交付金 >

- ・地域密着型小規模多機能事業所の整備(四万十町全体で21年度までに2箇所)
- ・5年後の観光客の延べ滞在者数 50%増加



廃校を活用した多機能型複合施設「南風ん風(はえんかぜ)」による地域再生

～語る・ふれあう・助け合う みんなの施設～【熊本県^{あまくさし}天草市】

廃校校舎を多機能型複合施設として活用し、福祉サービスを提供するとともに、生涯学習や地域交流などの各種事業を総合的に展開することにより、健康で生きがいを持つ、地域社会の中で多くの人と触れ合えるような環境づくりを進める。また、認知症対応型デイサービス施設のバリアフリー化を行うとともに、熊本大学と連携して地域の保健・福祉の向上を図る。

< 補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化、「高齢者活力創造」地域再生プロジェクトの推進 >

- ・認知症対応型デイサービス 3,168人(年間)、配食サービス3,600食(年間)
- ・転用後の多機能型複合施設を活用した市民活動の推進 年間利用者数 7,140人



地域の知の拠点再生プログラムを活用した計画 = 3件

国際自動車産業交流都市計画【愛知県、豊橋市、蒲郡市、田原市、御津町】

たはらし みとちょう

日本一の自動車港湾「三河港」において、自動車産業を核に、生産、研究開発、物流、観光など様々な分野における国際交流機能の向上、地域産業競争力の向上を図るため、企業誘致等の産業振興を推進する。また、東海地震の地震対策強化地域に指定されている三河港臨海部の防災力を向上させるため、豊橋技術科学大学等と連携した防災分野の研究開発を推進する。

<地域の産学官連携による優れた実用化技術開発への助成、日本政策投資銀行の低利融資等>

- ・製造品出荷額等の増大 6.3% (平成12~17年の平均伸び率)
- 6.5% (平成19~23年の毎年の対前年伸び率)
- ・産・学・行政の一体的な取組 域内大学との連携研究 50件(平成19~23年)



道整備交付金を活用した計画 = 28件

いのちの循環を大切にしたい住み良さ日本一のまち・由布市づくり計画【大分県、由布市】

ゆふし

ゆふし

3町が合併した由布市において、年間400万人もの観光客の訪れる湯布院地域、県都大分市のベッドタウンとして発展著しい挟間地域、農林業の盛んな庄内地域を連絡する道路整備などを総合的かつ一体的に実施する。これにより、観光ルートのネットワーク化、地域産業の振興等を図り、「経済と暮らしと生産の循環を大切にする」まちづくりを推進する。

<道整備交付金>

- ・年間観光客 442万人(平成17年度) 464万人(平成23年度)
- ・森林の維持管理(間伐等)面積 年間10 ha 増



汚水処理施設整備交付金を活用した計画 = 14件

人にも環境にも優しい快適環境のまち…南伊勢【三重県南伊勢町】^{みなみいせちょう}

効率的な汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、湾内の水質改善を図る。併せて、「南伊勢真珠」などのブランド化、水産業の生産性の向上を進めるとともに、体験型集客交流事業やふれあい市等を展開し、地域の活性化を目指す。

< 汚水処理施設整備交付金 >

- ・汚水処理人口普及率 45.3% (平成17年度末) 80.5% (平成23年度末)
- ・真珠生産量 615kg (平成17年度末) 675kg (平成23年度末)
- ・観光入込客数 192,539人 (平成17年度末) 210,000人 (平成23年度末)



港整備交付金を活用した計画 = 8件

地域資源をイカし都市との交流を推進するみなとづくり計画【佐賀県、唐津市】^{からつし}

高齢者や身体障害者、子ども等の多様な利用者が旅客船、遊覧船等に安全に乗降するための浮棧橋等を整備する。併せて、活きイカ等の水産物直販所の整備を図るとともに、日本三大朝市に数えられる「呼子の朝市」などイベントの開催により交流を推進するためのみなとづくりを実現する。

< 港整備交付金 >

- ・呼子港^{よぶここう}における交流人口 1,092千人 (平成16年) 1,155千人 (平成23年)
- ・イカの陸揚量の増大 387トン (平成17年) 487トン (平成23年)



呼子の朝市 (日本三大朝市)